

**「横浜市地球温暖化対策実行計画」(改定素案)に対する
市民意見募集(パブリックコメント)の実施結果について**

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「横浜市地球温暖化対策実行計画」の策定に当たって、平成26年1月7日に素案を公表し、市民意見募集(パブリックコメント)を実施しました。このたび、実施結果と本市の考え方をまとめ、公表します。

1. 実施概要

実施期間	平成26年1月10日(金)～平成26年2月10日(月)
意見提出方法	郵送、FAX、電子メール、直接持参
素案の公表場所	区役所広報相談窓口、市役所市民情報センター、横浜市温暖化対策統括本部調整課、ホームページ

2. 意見提出状況

提出者数	33件
意見件数	148件

3. 提出方法

郵送	10件
FAX	3件
電子メール	16件
持参	4件
計	33件

4. 部門別の意見提出状況と主な意見

部門等	件数
第1・2章 計画策定の背景・意義、計画の基本的事項	32
第3・4章 温室効果ガス排出量の現況、将来推計	6
第5章 削減目標	11
第6章 取組方針と対策・施策	85
部門横断	20
家庭部門	13
業務部門	9
産業・エネルギー転換部門	6
運輸部門	5
廃棄物部門	4
低炭素まちづくり	14
再生可能エネルギー普及	10
適応	4
第7章 計画の推進・進捗管理	2
その他計画全体	12
計	148

5. 提出された意見への対応

分類		件数 (%)
反映済み	既に素案に盛り込んでいるもの	21 (14%)
修正	素案を修正し、趣旨を盛り込んだもの	22 (15%)
参考	個別事業・取組に対するご意見として今後の参考にさせていただくもの	103 (70%)
その他	ご意見の趣旨が計画の趣旨等と異なるもの	2 (1%)
計		148

6. 提出された意見の概要と意見に対する考え方
別紙のとおり

「横浜市地球温暖化対策実行計画」（改定素案）のパブリックコメントで提出された
意見の概要と意見に対する考え方

■第1・2章 計画策定の背景・意義、計画の基本的事項

No.	意見（要旨）	分類	回答
1	寒い日が続くとつい忘れてしまうが、地球温暖化の影響は深刻。北極の氷がどんどんとけて白熊の住処がなくなっている。夏は猛暑で死人も出ている。コンクリートだらけの町ではヒートアイランドも深刻。やるべきことはたくさんあるはず。	反映 済み	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
2	「地球温暖化を阻止すべき」という根拠に説得性が欠けている。 温暖化すると何が問題になるのか、生物の環境や植生だけでなく、もっと住民に分かりやすく、説得性のある説明が必要。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
3	「地球温暖化の元凶はCO2の増加である」と決めつけている論調にも疑問を覚える。確かにCO2の増加と、平均気温の間には正の相関があるが、それだけで必要十分条件とは言えない。地球の長い歴史の間には太陽の活動や地球の保熱効果の変化などにより、氷河期や間氷期が存在しており、現代は間氷期にあるとの説もある。（気象庁）	参考	気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書や国立環境研究所等の報告によれば、20世紀後半からの温暖化は、氷期と間氷期の繰り返しの要因である日射量変動のみでは説明できず、大気中の温室効果ガス濃度の人為的な増加が影響している可能性が非常に高い、とされています。
4	地球の温暖化を防ぐというのが目的ではなく、「如何にして低エネルギー社会に移行するか」が施策の眼目ではないか。 単に地球温暖化を防ぐという事に視野を狭めれば、原子力エネルギー再開論を応援することにもなりかねない。 人間は欲望の動物であり、一度エネルギー使い放題の生活に慣れてしまったら、それを放棄することは容易ではない。 「低エネルギー社会」が「貧しい生活を余儀なくされる社会」ではなく、低エネルギーで如何に生活を豊かにできるかということをもっと行政としては考えるべき。	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
5	地球温暖化はそろそろ止まっているのではないか。	参考	気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書によれば、1880～2012年において、世界平均地上気温は0.85[0.65～1.06]℃上昇しており、最近30年の各10年間の世界平均地上気温は、1850年以降のどの10年間よりも高温と報告されています。
6	背景；“経済活性化”の業務部門の倍増，“世帯単一化・高度電化”の家庭部門の5割増，運輸・産業部門の近時低迷，“原発事故”のエネルギー部門の急展開等で、全排出量悪化傾向の打破に抜本策が強く求められている。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
7	基本的考え方；“省エネ・低炭素化”の技術インフラ整備を加速する共に、“環境価値観”へのマインドインフラ転換を、“少子高齢化”先進地域；横浜で“全市民・企業・行政/公的機関”一体で進めねばならない。 《文明と自然のバランスライフ；整えられた社会》を目指して	反映 済み	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
8	市民目線でCO2削減を普及しようと地域に呼びかける活動をおり、京都議定書の6%削減（1日1,000g削減が目標値）を基準にスタートしたが、その後、国の目標値も曖昧になり、どのように改訂していこうかと思案中。今回の横浜市を基準にと考えてるが、排出係数や再生可能エネルギーへの転換など、市民とするとわからないことが多く、2020年（短期目標）の16.7%削減もなかなか納得できない。市民に伝えるためにももう少し具体的な、なるほどと思えるような説明が欲しい。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
9	国が一向に新たな温暖化対策計画を策定しない状況の中で、それに先駆けて計画を策定しようとする姿勢は評価する。	反映 済み	ありがとうございます。引き続き、ご協力、ご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。
10	世界の先進諸国が、大量生産や大量消費、大量廃棄、長時間労働、24時間型社会などのエネルギー消費社会を見直し、本格的な温暖化対策に取り組んでいる今、横浜市はこの方向に逆行していると思います。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
11	18ページ「しかしながら、東日本大震災以降・・・再生可能エネルギー等を活用した自立・分散型エネルギーシステムの導入による・・・」の記載について。 分散型エネルギーシステムの定義が不明確。適切な所に「※一般に、コージェネレーション、再生可能エネルギー発電・熱利用設備、エネファーム等の「創エネ」設備、蓄電池等の「蓄エネ」設備等から構成されるシステム（出典：電力改革を受けた分散型エネルギーの可能性について 平成25年11月 経済産業省）」と定義を記載すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
12	18ページ「しかしながら、東日本大震災以降・・・再生可能エネルギー等を活用した自立・分散型エネルギーシステムの導入による・・・」の記載について。 コージェネレーションは自立運転が可能な分散型エネルギーであることから、「再生可能エネルギーやコージェネレーション等を活用した」と追記すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
13	CO2の排出量増加の主たる原因は、中国、インドや東南アジアなどの新興国なので、横浜市の排出量を減らす努力するよりも新興国へ排出削減技術を輸出する努力を国政レベルでした方が、地球的規模的によほど効果的である。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。なお、第6章に横断的緩和策／低炭素連携として海外都市への環境協力について記載しております。
14	反原発の立場を明確にしてリーダーシップをとるべき。	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
15	原子力発電ゼロの立場に立った計画に見直すこと。	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
16	横浜市は原発廃止に反対なのか？東京都知事の選挙では、原発の存続・廃止が大きな争点になっているが、70年前の技術に頼ろうとする市長、市職員を支持する訳にはいかない。	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
17	基本方針にある「原発に過度に依存しない」は国の政策に追随するもの。修正して脱原発を掲げるべき。	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
18	震災以降、エネルギーのことばかりクローズアップされ、気候変動対策の議論が置き去りになりつつある中、計画を策定することは意義がある。	反映済み	ありがとうございます。引き続き、ご協力、ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
19	政治パフォーマンス的に「反原発」を標榜することなく、市民生活や事業活動に留意した現実的なものとしたこともよいのではないか。	反映済み	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
20	2050年横浜の姿；「活気に満ち、且つ環境に優しいグローバル港湾都市：横浜」	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
21	計画の基本方針の「原発や化石燃料に過度に依存しない…」として、“原発ゼロ”の国民市民的要求に反し、化石燃料に依存しない姿勢に欠けます。	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。
22	22 ページの基本方針について。趣旨には賛同する。	反映済み	ありがとうございます。引き続き、ご協力、ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
23	22 ページの基本方針のうち、「原発や化石燃料に過度に依存しない、地域におけるエネルギーの創出と地産地消の推進」について。「地域における再生可能エネルギーや未利用エネルギーの積極的な活用を行うことで・・・」と記載されているが、地域におけるエネルギーの地産地消には分散型エネルギーシステムの構築が重要な役割を担うことから、当該方針の説明文に「 <u>地域における分散型エネルギーシステムを構築することによって、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの積極的な活用を行うことで・・・</u> 」と追記すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。

No.	意見（要旨）	分類	回答
24	<p>25 ページ「これらの分散型の多様なエネルギー源は、災害時における電気の確保にも役立ち、自然災害に強い安心安全のまちが形成されています。」について。</p> <p>直前の文より「これらの分散型の多様なエネルギー源」には工場排熱等の未利用エネルギーも含まれると解釈できる。しかし、未利用エネルギーは災害時に発生源が停止し供給されない場合が多いと想定され、災害時に未利用エネルギーだけで電気の確保に役立つようなニュアンスを持たせることは避けた方がいい。</p> <p>したがって、当該箇所を「これらの多様なエネルギー源を一部活用した分散型エネルギーシステムは、災害時における・・・」と修正すべき。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
25	<p>原発の再稼働をやめさせ、原発が核エネルギーに依存していることから宿命的ともいえる放射線による巨大な核エネルギーの放出による危機は地震や津波にとどまらず、人によるミスと未完成な技術に伴う危険性のリスクから完全に逃れられない。すでに存在している原子炉の廃炉という何十年とかかる期間の安全な作業を完遂すること自体も重大な課題。なお、原発が事故無く稼働していても、その海水の排水による廃熱は地球温暖化の一つの重要な原因であり、放置できない。</p>	参考	<p>一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
26	<p>計画の基本方針の「原発や化石燃料に過度に依存しない、」として、原発ゼロの国民・市民的要望に反します。</p>	参考	<p>一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
27	<p>21 ページ「日常的・経常的に行われる市民生活や事業活動が原子力発電や化石燃料に過度に依存しないようにするため、再生可能エネルギーや未利用エネルギーを最大限活用し、CO2 をできるだけ排出しない低炭素型のまちづくりを進めることが必要である。」について。</p> <p>原子力発電は、発電の際にCO2 を排出しないため、CO2 排出量の低減に有効であると考えられる。</p>	参考	<p>一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
28	<p>22 ページ「地域における再生可能エネルギー・未利用エネルギーの積極的な活用を行うことで、原子力発電や化石燃料に過度に依存しない低炭素型の地域づくりに取り組む。」について。</p> <p>原子力発電は、発電の際にCO2 を排出しないため、CO2 排出量の低減に有効であると考えられる。</p>	参考	<p>一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見（要旨）	分類	回答
29	<p>22 ページ「温暖化対策の取組を市域全体で進めることにより、東日本大震災以降注目されている、自立分散型エネルギーシステムの導入による防災性の向上はもちろんのこと、文化の創造や発展、都市の価値向上等への波及効果が期待できる。」について。CO2 排出量低減のためには、再生可能エネルギーを利用した自立分散型エネルギーシステムが有効であると考えており、次のとおり表現を一部追加すべき。</p> <p>「温暖化対策の取組を市域全体で進めることにより、東日本大震災以降注目されている、<u>再生可能エネルギー等の自立分散型エネルギーシステム</u>の導入による防災性の向上はもちろんのこと、文化の創造や発展、都市の価値向上等への波及効果が期待できる。」</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
30	<p>25 ページ「これらの分散型の多様なエネルギー源は、災害時における電気の確保にも役立ち、自然災害に強い安心安全のまちが形成されています。」について。横浜市以外での災害時における系統電源の代替に役立つという意味では、「自立型」である必要があるのではないかと、また、22 ページ 1 行目の表現と合わせた方がよいのではないかと考えており、次のとおり表現を一部追加すべき。</p> <p>「これらの<u>自立分散型の多様なエネルギー源</u>は、災害時における電気の確保にも役立ち、自然災害に強い安心安全のまちが形成されています。」</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
31	<p>31 ページ「自ら新しい暮らしのあり方を提案・実践するなど、従来のエネルギー大量消費型社会から、原発や化石燃料に過度に依存しない低炭素型のライフスタイルに転換していく。」について。原子力発電は、発電の際に CO2 を排出しないため、CO2 排出量の低減に有効であり、また、エネルギー大量消費社会と低炭素型社会は、異なる次元の概念のため比較不可能であるため、次のとおり表現を修正すべき。</p> <p>「自ら新しい暮らしのあり方を提案・実践するなど、従来のライフスタイルから、低炭素型のライフスタイルに転換していく。」</p>	参考	一つの重要なお意見として、今後の参考とさせていただきます。
32	<p>基本的考え方について、「原発に過度に依存しない」としているが、実情として東京電力に頼らざるを得ない状況下において、横浜市は電力を今後すべて自前で用意するつもりなのか。それよりも現状をしっかりと把握し、できることから地道に取り組んでいくことが、市役所の役割ではないか。名実ともに実現できる取り組みをお願いします。</p>	参考	一つのご意見として、今後の参考とさせていただきます。

■第3・4章 温室効果ガス排出量の現況、将来推計

No.	意見（要旨）	分類	回答
33	温室効果ガス排出についての現状分析、および現計画の到達点と総括を明らかにすること。	反映済み	現状分析については、第3章温室効果ガス排出量の現況の「3-2 CO2 排出量の増減の要因」をご覧ください。また、先の実行計画の進捗状況については、地球温暖化対策実行計画部会の配布資料をご覧ください。 http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/plan/bukai/
34	2011年度にCO2の排出が増えているのは3.11以降の火力発電依存拡大によるものであることを明記すべき。	反映済み	第3章温室効果ガス排出量の現況の中の「参考：電力のCO2排出係数の推移について」にて増加が見込まれる旨を記載しております。
35	（温暖化対策が）ごみと資源や、緑の保全とも密接につながっていることももっと説明してほしい。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
36	「横浜市の温暖化効果ガス排出量が2011年度は、1990年度に比べ18.8%増加」としてありますが、これまでの市の対策の実行計画のどこに問題があったか、明確にしてください。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。なお、先の実行計画の進捗状況については、地球温暖化対策実行計画部会の配布資料をご覧ください。 http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/plan/bukai/
37	「横浜市の温暖化効果ガス排出量が2011年度は、1990年度に比べ18.8%増加」としてありますが、それまでの横浜市の温暖化対策計画の実行のどこに問題があったのか、明確にしてください。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。なお、先の実行計画の進捗状況については、地球温暖化対策実行計画部会の配布資料をご覧ください。 http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/plan/bukai/
38	49ページ「それぞれの部門における対策の実施効果を積み上げることで、横浜市全体の短期目標を設定する。目標値としては、前章に記載の対策ケースにおける排出量を目安とするため、対策ケースにおける基準年比が目標値となる。」について。 現状趨勢ケースよりも対策実施の効果分だけ温室効果ガス排出量を削減するためには、「6-2 部門（分野）別緩和策」に記載されている目標達成のための「具体化または検討する主な施策」に記載される内容が前提となるが、業務部門、産業・エネルギー転換部門等の横浜市内における事業拡大や新規投資等の経済活動の阻害につながる恐れがあるので、目標設定はCO2排出量ではなく、例えば、家庭用部門であれば人口数、業務部門であれば延床面積、産業部門であれば生産数当たりのCO2排出量といった原単位の低減を目標としてはどうか。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。なお、短期・中期目標としては、参考として家庭部門については“世帯当たり電力量”、業務部門については“面積当たり排出量”を記載しております。

■第5章 削減目標

No.	意見（要旨）	分類	回答
39	削減目標は個々の対策・施策ごとの積み上げではなく、まず最初に数値目標を掲げ、それに見合う具体的な数値目標を施策毎に設定するよう再考すること。	参考	目標設定のあり方については、横浜市環境創造審議会における議論を踏まえたものとしております。なお、国が示す計画策定マニュアルにおいても、政令市の総量目標は積み上げ法を用いることとしており、本市は2050年の横浜の将来像を見据えたバックキャストिंगの観点も踏まえつつ、目指すべき目標値や具体的に検討される対策・施策を最大限導入することを想定し、削減目標を設定しております。
40	2050年という先の削減目標を小数点以下まで定めるのはナンセンス。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
41	温室効果ガス削減目標については、16.7%、24.5%、82.7%というように中途半端に細かい数字が並んでおり、どうもピンとこない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
42	環境目標；「CO2排出量[t/年]：1990年基準1686万t、'11年実績2003万t(+18.8%)削減目標；基準比、'20年△20%、'30年△30%、'50年△50%（環境先進国；EU並みを目標！）	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
43	49ページに「政府の方針を踏まえれば、震災直後の平成23（2011）年度の系統原単位（0.464[kg-CO2/kWh]）からは徐々に改善されることが想定される。」とあるが、本当にそうなのか疑問。国の新しい目標は、原発ゼロで見込んでおり、政府の方針を踏まえるのであれば、2012年度の実排出係数を適用すべき。	参考	原子力発電について、国は原子力規制委員会が安全を確認したところから再稼働させることとしていますが、これ以外に将来の正確な見通しが困難であるため、現状趨勢ケースと同程度であると仮定しております。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
44	1990年度比25%の削減目標を大幅にダウンしたことは重大な問題です。	参考	現状を踏まえ、かつ対策・施策を最大限導入することを想定し、削減目標を見直しております。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
45	ヨーロッパ諸国が、大量生産、大量消費、大量廃棄、長時間労働・24時間型社会などのエネルギー消費社会の見直し、本格的な温暖化対策に取り組んでいる今、1990年度比25%の削減目標を大幅にダウンしたことは世界の流れに逆行する重大な問題です。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
46	電気と同様に都市ガスも家庭部門におけるCO2排出の主な要因のひとつであるため、50ページに、参考に世帯当たり都市ガス消費の削減量の目安（家庭部門）についても追記すべき。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
47	国も森林吸収源を削減目標にカウントしているため、横浜市も加えるべき。	反映済み	森林吸収源については、削減目標に含まれております。

No.	意見（要旨）	分類	回答
48	つい最近「エキサイト 22」の中で目標原単位を定めたはず。低炭素街づくりの中のみなとみらい 2050 プロジェクトとの整合性はどうか。	反映 済み	「エキサイトよこはま 22」および「みなとみらい 2050 プロジェクト」との整合性も踏まえて検討しております。
49	削減目標が、小数点まで出ているが、より市民に分かりやすくするには細かすぎ。	修正	対策・施策を最大限導入することを想定し、削減目標を設定しております。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

■第6章 取組方針と対策・施策（部門横断）

No.	意見（要旨）	分類	回答
50	県民にエコ環境税 4 円、樹林基金税 4 円、事業者にも同様に 10 円を課してはどうか。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
51	植樹したら 5 万円交付してはどうか。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
52	自治会館を防災や振り込め詐欺対策の具体策を出す場にしてはどうか。	その他	—
53	多額のエコ環境寄付金や植樹寄付金の寄贈者を表彰してはどうか。	参考	ご意見は、環境活動への貢献を表彰し、取組インセンティブを確保することとご提案と認識しております。今後の取組の参考にさせていただきます。
54	横浜市のコアバリュー案 1 森林、農地などのランドスケープと都市のモザイク化が進んでいる (田園都市化が進んでおりランドスケープが充実している)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
55	横浜市のコアバリュー案 2 豊かな海洋ランドスケープとの都市のモザイク化が進んでいる (海洋都市化のポテンシャルがある。交流する街として知的な 300 万人の市民を抱えて国内（新横浜駅、羽田空港）、国外（羽田空港、横浜港）と交流する能力を持っている。多様な世代が存在しており世代を超えた協業が進むポテンシャルを持っている)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
56	施策案 自然のランドスケープで遊ぶためのアウトドア活動でつながるためのビジネスモデルの構築 (出資、共同購入型フランチャイズの発展、店頭でのアウトドアコミュニティ教育、アウトドア活動の活性化の一連のバリューチェーンを市内企業、海外企業誘致を通じて中小のビジネスを活性化（新素材、新モビリティ、新介護用具、コミュニティ型フランチャイズ）アウトドア活動のグッズのライフサイクルビジネスを支援することで身近な持続可能性を実践することで横浜市民の持続性実行能力を高めるとともに横浜のコアの価値を対話で高めていく数年後に高まった価値をベースに商品、サービス、プラットフォーム、ビッグデータなどを他の都市へ輸出してグローバルな温暖化抑制に貢献する)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
57	沖縄では、直流による地域電力の効率化実験をすると聞いているが、電力エネルギーのすべてを東京電力と同じ条件でコトを進めようとする沖縄と隔世の感がする。(沖縄に原発は無い)。	参考	一つのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
58	スマートグリッドの記述があるが、まるで分かっていないようだ。	参考	一つのご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
59	ただし、具体的な中身を見ていくと、例えば省エネ型の住宅の普及目標が過大と思われることや、反対に住宅用太陽光発電の普及目標をこれまでの計画と比べて引き下げすぎていることなど、ちぐはぐな点が見受けられる。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
60	運輸部門の車の区分も、どんな車がどの区分に該当するのか分かりにくく、違和感がある。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
61	重点優先施策；“ハード・ソフト;組合せの重点取組”と“市長リーダーシップ下,民/産/官;一体取組”で推進する 1. 健康・防災と連鎖した省エネ/低炭素化活動官民・NPO 一体キャラバン隊 to 自治会・地域・業界	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
62	重点優先施策；2. (補助・助成金+専門人材+銀行融資)資源投入の“より効果的効率的施策・項目への重点集中化”	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
63	重点優先施策；3. 全市；民・自治会・区、企業、公的機関で“省エネ・低炭素化コンペティションと表彰制；；実施”	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
64	重点優先施策；4. 神奈川県(隣接市含む)との目的統一的緊密協業@「神奈川スマートエネルギー計画」	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
65	太陽光発電の導入目標は成り行きで達成できそうな平凡なものであり、環境をリードする都市として物足りない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
66	太陽光発電やHEMSの目標について、いくら実績が伴っていないからと言って、下げすぎ。これでは目標と言えないのではないか。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
67	住宅の省エネ目標について、既築50%ということは2軒に1軒が断熱化などをやるということ。家の改修にはとてもお金がかかる。補助をたくさんやってくれるなら別だが、そこまでやってくれるわけではないのに2軒に1軒が省エネ住宅になるというのは無理ではないか。これでは市民としてついていけない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
68	p68 「太陽光発電・太陽熱利用設備の普及」についてはもっと大切に。事業所の8%とか1%とか言わず、具体化のための施策を早急にとる。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
69	国、横浜市のエネルギーの現状を考えると、再生可能エネルギーをさらに加速すべき。太陽光発電の導入目標を下げるのは、逆行した取り組みで理解できない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。

■第6章 取組方針と対策・施策（家庭部門）

No.	意見（要旨）	分類	回答
70	家庭部門；“YSCP・EV・HEMS/太陽光発電等啓蒙・奨励・実証試験方式から、草の根運動強化と中大規模展開；併用方式”を統合し、実益の伴う”健康で安全・安心な環境に優しい住生活づくり”（個人・単発；個別補助金から、地域・集団+多目的；総合包括補助金へ；低コスト・高効果；普及方式）	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
71	家庭部門；1. 全世帯；省エネ・低炭素化推進；契約30A化・待機電源Off化・LED化・省エネ家電・自然採光	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
72	家庭部門；2. 住宅；新規&既設（リフォーム）高断熱木造化/複層ガラス化, 既設住宅；安価床暖房化リフォーム 複合機能型木造/RC 混合中層集合住宅化@木造密集地域再生化@市指定11か所+駅近拠点	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
73	家庭部門；3. 太陽光発電量拡張策；既設住宅向容量6~10kW、BEMS/コージェネ普及；新規大規模集合住宅	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
74	家庭部門；4. “（中大規模）郊外スマートシティ”具現化；エネルギー・住宅・車・電気/電子・IT 統合会社と市・市銀行支援体制づくり（国・県・市推進；各種実証試験結果の総和としての“大規模成果”刈取り）	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
75	既存住宅を省エネ基準に適合させるには、インセンティブを大幅に充実しない限り、目標達成は極めて困難。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ目標水準の精査を行うとともに、国の省エネ改修税制の利用の促進などに努めていきます。
76	具体的な行動の中にぜひ、使用済み食用油の回収を進めていただきたい。 現在も大半が廃棄されている食用油は、ほとんどエネルギーをかけることなく、石油と同等に燃焼する燃料として使用する事ができ、カーボンニュートラルの概念からCO2排出量はゼロカウントになる。集める仕組みさえ確立できれば、半永久的に石油と同等のエネルギーを日本で生み出すことができる。	反映 済み	使用済食用油や生物由来の油から作られる軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）の利用促進について、具体化する施策に盛り込んでおります。今後も、引き続き皆様のご協力をいただきながら、取組を推進してまいりたいと考えております。
77	一般家庭から回収するのに、ペットボトルなどを利用しそのまま回収することで、容器から取り出す仕事を、ぜひ障害を持たれた社会的立場の弱い方々に担当していただき、雇用創出につなげることができる。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
78	取り組んだ成果が目に見える（例：HEMSだけではなく、地域ごとの電力量を公開する）など、納得し楽しく参加できるような仕組みを生活者の視点で作れたらいいと考えている。	参考	ご意見いただきましたとおり、特に家庭部門での省エネ等の推進においては、取組実施による削減効果が見える化し、行動を普及啓発していくことが重要と認識しています。計画の推進にあたっては、地域に根差した取組の浸透を進めてまいります。

No.	意見（要旨）	分類	回答
79	家庭の省エネは 2011 年の大震災の直後にくらべ市の広報活動は全く少なくなっている。年 1 回か 2 回の省エネ日、時間をきめ広報活動を活発にして（ゴミの収集車で宣伝）その成果を公表してはどうか。	参考	素案に盛り込んでおります通り、キャンペーンや情報提供等の広報活動を更に進めていきたいと考えております。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
80	家庭での CO2 削減の方法と、その削減量の算定方法も周知される必要がある。（入浴の方法、温排水の熱交換による有効利用）	参考	環境家計簿やうちエコ診断、HEMS 導入等、関連する対策・施策の普及促進や周知に、更に努めていきます。
81	54 ページ「また、家電・住宅機器のエネルギー消費を削減に向けては、高効率住宅機器の普及、より省エネ効果の高い家電の普及、CO2 を出さないエネルギーによる家電等の利用を進める。」について。 「CO2 を出さないエネルギーによる家電等の利用」という表現は不明確であり、また、CO2 を出さないエネルギーによる家電等の利用を進めても、家電・住宅機器のエネルギー消費の削減にはつながらないと考えるため、次のとおり表現を修正すべき。 「また、家電・住宅機器のエネルギー消費の削減に向けては、高効率住宅機器の普及、より省エネ効果の高い家電の普及を進める。」	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
82	家庭での取組を推進するうえでも、HEMS（見える化）は即効性のある取組なので、今後も推進すべき。	反映 済み	今後も、HEMS 等の導入を推進してまいりたいと考えております。

■第6章 取組方針と対策・施策（業務部門）

No.	意見（要旨）	分類	回答
83	業務部門；“経済活性化とバランスする「省エネ・低炭素化；商業施設とオフィス群」構築”の推進	反映 済み	ご意見の趣旨については素案においても対策として位置付けており、今後も引き続き推進してまいります。
84	業務部門；1. 夜間；ブラックイルミネーション消灯@事務所、及び広告塔照明消灯、4日消灯/週末3日点灯制	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
85	業務部門；2. LED照明；自主的設置目標設定・フォローと2,3年以内；大規模施設の義務化・法制化(EU環境指令#244/2009；暫時導入拡大→2016.9月；LED完全移行)（13.10月水銀；水俣条約採択）	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
86	業務部門；3. 空調温度管理の順守；夏場28℃、冬場22℃～当初；自主規制、2～3年後；義務化・違反罰則	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
87	業務部門；4. BEMS/コージェネ・熱配管連結等；単独+地域エネルギーシステム@都心部から、暫時法制化	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
88	64ページのCASBEE横浜の推進について。コージェネの導入目標を達成するために、CASBEE横浜においてコージェネレーション導入の検討を義務化すべき。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
89	P.64 ②事業所における省エネ(1)、P.70【対策別の中期目標(平成32年(2020)年度)と削減見込み量一覧】(3)産業・エネルギー転換部門、P.73 ②工場における省エネ【産業部門】、P.77【対策別の目標と削減見込み量一覧】の「コージェネ・燃料電池の導入」について。 ガスコージェネレーションシステムは、発電効率自体はあまり高くないため、排熱を有効利用できない場合にはむしろCO2排出量を増大させてしまうことがある。そのため、表中に、「※コージェネレーションシステムは排熱と電気を有効に活用した場合にCO2低減につながる」と注記を記載すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
90	P.64 ②事業所における省エネ(1)、P.70【対策別の中期目標(平成32年(2020)年度)と削減見込み量一覧】(3)産業・エネルギー転換部門、P.73 ②工場における省エネ【産業部門】、P.77【対策別の目標と削減見込み量一覧】の「コージェネ・燃料電池の導入」について。 ガスコージェネレーションシステムが都市部に導入された場合、建物の屋上等の比較的低層から排出される排気ガスにより、市街地・住宅地の地表付近の大気環境への影響が懸念される。	参考	ガスコージェネレーションシステムの導入にあたっては、大気汚染防止法をはじめとする各種環境法令の遵守が求められます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
91	<p>P. 64 ②事業所における省エネ（1）、P. 70【対策別の中期目標（平成 32 年（2020）年度）と削減見込量一覧】（3）産業・エネルギー転換部門、P. 73 ②工場における省エネ【産業部門】、P77【対策別の目標と削減見込み量一覧】の「コージェネ・燃料電池の導入」について。</p> <p>実行計画第6章、対策の枠組みにもある通り、再生可能エネルギーの活用は重要な手段であり、大気熱、温度差エネルギーにヒートポンプ機器の導入は有効と考えます。</p>	反映済み	大気熱、温度差エネルギーの利用推進についても、素案に記載しております。

■第6章 取組方針と対策・施策（産業・エネルギー転換部門）

No.	意見（要旨）	分類	回答
92	産業・エネルギー転換部門；“企業；御任せ方式から協議・指導→(将来)法制化方式へ“転換促進	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
93	産業・エネルギー転換部門；1. 多消費業種；省エネ・低炭素化のコージェネ・熱配管@個別+地域の実施(EU;CHIP 法)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
94	産業・エネルギー転換部門；2. 多 CO2 排出業種@石炭・LNG 火力発電所+石油プラン・コンビナートの高効率化(省エネ含む)及び CCS 設備設置(小中規模；商用化済化学吸収法適用、大規模；貯留@廃坑の展開)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
95	産業・エネルギー転換部門；3. 非住宅型メガソーラ(20kW 以上)PFI 事業@国・自治体保有地の補助金&促進(神奈川県協業も)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
96	76 ページ、98 ページの企業連携によるエネルギー融通は、エネルギー転換部門に限定するのではなく、産業部門も含めるべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
97	<p>71、74 ページ「具体的には、市域内へのエネルギー供給に関する情報の把握、再生可能エネルギーの供給者を増やすことを進める。」及び「事業者へのエネルギー供給情報提供の依頼」について。</p> <p>「市域内へのエネルギー供給に関する情報の把握を進める」「事業者へのエネルギー供給情報提供の依頼」とのことだが、その際には事業者が競争上不利益を被るような情報の提供依頼とならないよう、また事業者に過度な負担とならないよう配慮してほしい。</p>	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

■第6章 取組方針と対策・施策（運輸部門）

No.	意見（要旨）	分類	回答
98	運輸部門；“医療便益にも資する「マイカー自粛・(将来)放棄と低CO2排出バス化」システム構築”（老若男女;全市民が、常日頃徒歩・自転車中心の健康で爽やかな交流社会を心掛ける）	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
99	運輸部門；1.70歳以上高齢者マイカー率先放棄(自主→条例化)と全市民自主廃止運動(ドイツ等;地方都市)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
100	運輸部門；2.EV・FCVのみ認可(補助金;国70万円+市;30万円)@(中/西/南区;約10万台)都心部から拡大普及(全市;約100台)、併せて、電気式バス採用加速(市導入;10台/年倍増@対象800台,私営バス導入;5台/年義務化@対象1100台)、'30年以降;商用化FCVバスへシフト公的機関タクシーの小型ディーゼルHV化,将来EVの導入促進、通勤通学買物;自転車/徒歩	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
101	運輸部門；3.“エスカレーター停止”@市内鉄道駅(但し、障害・高齢・子供連れ用エレベータ運用確保)	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
102	p84 事業所へのクリーンカーの導入に補助金予算をつけるべき	参考	国等が実施しているエコカー減税等の動向を踏まえつつ、いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

■第6章 取組方針と対策・施策（廃棄物部門）

No.	意見（要旨）	分類	回答
103	面白かったのは、「割り箸」を止めて「マイ箸」を使うとある記述。「マイ箸」を持ち歩くと雑菌が付着、使用後はすぐに洗わないと不衛生。使用後の「割り箸」を炭にすれば、水質浄化から家庭菜園の土壌菌の繁殖など様々な用途に使えることを知っているのか。	参考	割り箸を回収して炭化するためには、設備や回収システムを確立していく必要があります。現状を踏まえると、マイ箸の利用は、市民の皆様にもわかりやすい3R行動として一定の効果が得られると考えております。
104	p88 生ごみのバイオガスも早急に進めるべき	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
105	交通手段では、公共輸送機関の活用には、料金の低減化、目的地までの乗り換えで料金が増加しないよう現行制度を変えることが必要。個別移動手段であり、CO2削減に効果を発生する自転車やバイクの回生制動機能つきのものに改善することは横浜の地形から必要。バイクなどはハイブリッド化することも。電気自動車も有効と考えられるが、1トン近くの重量をもつ自動車を大量に普及することは逆行になりかねない。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
106	廃棄物部門について。逗子市では、市役所の一部に不用品交換所があり、10時～16時まで開いている。分別して持ち込まれた不用品は、他都市の人でもらうことができる。ぜひ横浜市でもやってほしい。区ごとや町ごとでやるのがいいかもしれない。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

■第6章 取組方針と対策・施策（低炭素まちづくり）

No.	意見（要旨）	分類	回答
107	緑の豊かな住環境を作ることも重要。	参考	緑豊かな住環境の創造については、「横浜みどりアップ計画」にも位置付けております。市民や事業者の皆様と共に、今後も取組を推進してまいりたいと考えております。
108	低エネルギー交通手段を促進することも重要。 しかし、自転車利用を推進するにしても、自転車に対する交通行政の遅れがあまりにも著しいという現実がある。例えば、自転車専用道路の不足、歩行者との棲み分けなどで、自転車の交通ルールを知らないで自転車に乗ることが許されている行政の実態も見直すべき。自転車用の免許なども考慮に入れる必要がある。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
109	高速道整備や再開発計画を見直し、地球温暖化対策計画との整合性を図ること。	参考	地球温暖化対策実行計画（改定素案）において、部門横断的な柱として、新たに「低炭素まちづくり」を設定し、都心臨海部や郊外部などエリアごとの低炭素化の推進、高速・幹線道路整備による環境に優しい道路ネットワークの整備促進などに取り組むこととしております。 また、環境創造局において、市役所自身の事務・事業における「横浜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を別途策定し、温室効果ガス排出量の削減目標を設定しております。 この二つの計画における目標をもとに、各区局がそれぞれ施設整備計画や予算等を踏まえ再生可能エネルギーの導入を行っており、導入の促進にあたっては、庁内の温暖化対策の総合調整を行う「温暖化対策区局長等連絡会議」等を通じて各区局の事業推進を図っております。
110	都市のヒートアイランド現象は深刻な問題だが、飛行機のように空気の流れを利用して低減することは可能。土地さえあれば、建築基準法さえ問題なければ。春夏秋冬で吹く風の変化は変わりますが、建物の向きでヒートアイランド現象の低減に効果が期待できるはず。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
111	横浜市は高速道路網の整備に力を入れているが、過度の自動車依存やライフスタイルの見直しという取組方針と矛盾している。	参考	高速道路の整備により、横浜港の発展及び市内の経済活性化に貢献する他、大規模災害への備えの充実等が期待されます。マイカー利用の増加という側面もあるものの、渋滞緩和による燃費の改善やバスの利便性の向上といった副次的効果も期待されます。過度に自動車に依存するライフスタイルの見直しと合わせて取り組んでいきます。
112	96 ページ以降の低炭素まちづくりの取組に事業量目標や削減目標が全く書かれていない。現段階で計算するのが難しいということですが、せめて横浜の顔である港の環境負荷削減については数値を示して本気でとりこんでほしい。	参考	素案に記載しました通り、エリアごとの低炭素化の推進にあたっては、関係者間で削減目標の設定を含めていくなど、可能な限り具体的な形で共有していきたいと考えております。市民・事業者の皆様のご協力をいただきながら、進めてまいります。
113	低炭素まちづくりについて、みなとみらいのあり方を検討しているなら、具体的に排出量をどう抑えていくのか、目標値をしっかりと設定して頑張っていくべき。将来像をしっかりと持っていないと魅力的な場所にはならない。	参考	素案に記載しました通り、エリアごとの低炭素化の推進にあたっては、関係者間で削減目標の設定を含めていくなど、可能な限り具体的な形で共有していきたいと考えております。市民・事業者の皆様のご協力をいただきつつ、進めてまいります。
114	97 ページの「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」部分の記載について。「再生可能エネルギー利用」とあるが、広く分散型エネルギーについての課題に取り組んでいるので、「再生可能エネルギーなどの分散型エネルギーの利用」と追記すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
115	98 ページに「水素を含めた未利用エネルギーの活用等検討」とあるが、未利用エネルギーの定義に水素は含まれないため、「水素及び未利用エネルギーの活用等検討」と記載すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
116	水路を街中にめぐらし、気温を下げる。街路樹をおくようなイメージで水路をめぐらす。（増水時の安全のための地下水流や遊水池を附属させながら）	参考	いただいたご意見は、今後、実際に低炭素型のまちづくりを進めていく上で、参考にさせていただきます。
117	町中で人と物の移動が盛んであるために歩道に（歩行に）主軸をおいた道路行政をすること。従来の車の流れによる交通とは視野をかえていくこと。（車は、町と町を結ぶものとして位置づけていくこと）	反映済み	ご意見いただいた趣旨は、素案に記載しております。市民や事業者の皆様のご協力をいただきつつ、今後、具体的な取組を推進していきます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
118	大都市近郊の農業は市民の生存に欠かせない。移送に要するCO2削減に貢献。特に、高齢化には高齢者にふさわしい作業・労働として農作業が適当。また、食材料廃棄物の堆肥化を活用し、メタンガスの産出や有機肥料の供給を行う。大都市の人口減少に、空部屋を活用し、LEDや光ファイバー、など活用し、太陽光の屋内農業への利用。そのための太陽光をフォローする安価な装置の開発は欠かせない。	参考	ご意見いただいた趣旨は、「横浜みどりアップ計画」の「市民が身近に農を感じる場をつくる」として取組の柱に位置付けております。市民や事業者の皆様と共に、今後も取組を推進してまいりたいと考えております。
119	101 ページ「図 6-11 再生可能エネルギー普及の取組方針及び対応する対策の方向性」について。 本文中にもあるように、未利用エネルギーのポテンシャルは大きく、これを積極的に活用していくことは、本計画の趣旨に沿うものと思われるため、次のとおり未利用エネルギー導入について追加すべき。 図 6-11 再生可能エネルギー等普及の取組方針及び対応する対策の方向性 取組方針： <u>地域特性を踏まえた未利用エネルギーの導入拡大</u> 対策の方向性： <u>④ヒートポンプ等の高効率な機器の普及</u>	反映 済み	素案に記載の通り、温度差エネルギーや、未利用エネルギー等についても、取組を進めていくこととしております。具体的な取組・対策については、引き続き検討を行っていきたいと考えています。
120	横浜市がすべきことは、都市部の緑地化などでヒートアイランド現象を軽減することであり、これにより横浜市民が過ごしやすく生活できる。	反映 済み	素案に記載しました通り、ヒートアイランド現象の軽減は重要課題と考えています。緑豊かな都市の形成など、市民・事業者の皆様と協働して展開していきます。

■第6章 取組方針と対策・施策（再生可能エネルギー普及）

No.	意見（要旨）	分類	回答
121	税金を使わずに、クリーンエネルギーを生み出しCO2の削減へ この度、林市長がカジノを中心とした統合リゾート施設の誘致を決断されました。横浜市がIR特区に選ばれ、カジノ施設を誘致する事が出来れば、多くの外国資本を活用出来ると思います。IR特区内施設は、洋上風力発電などのクリーンエネルギーですべての電力を賄うようにする。（義務付けるよう政府に促す）カジノ誘致だから出来る、外国資本を最大限に活用し、洋上風力発電の開発、製作を行う。洋上風力発電機の規模を拡大する事が出来れば、多くの電力を生み、またIR特区内で余った電気は、横浜市民に還元する事も出来ます。クリーンなエネルギーを使用する事で、必ずCO2排出量の削減になると思います。ぜひ御検討のほど、よろしく御願い致します。	参考	国等による推進政策を踏まえつつ、再生可能エネルギーの利用促進を図ってまいります。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
122	太陽光発電のような大きな物の補助金だけでなくたとえば自転車をこいで発電する機械など身近な物の補助金もあると良いです。トタンの家は夏に暑くて冬に寒いので張り返る補助金もあるといい。	参考	技術の有用性や費用対効果などを踏まえた検討が必要と考えます。
123	ソーラーパネルをつけた自治会館を造り利用したら毎年20万円の運営交付金を出してはどうか。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
124	業務部門でCO2を削減するのであれば、高層ビルを林立させる都心部再開発を中止すべき。	参考	豊かな市民生活を支えていくためには、横浜市の経済が持続的に発展していくことも重要であると考えています。例えば、みなとみらい21地区において、エネルギー消費原単位の少ない集約型の低炭素まちづくりを推進しています。
125	市予算の「地球温暖化対策」の「住宅用太陽光・太陽熱利用システム設置費補助事業」が、平成24年度の399百万円をピークに平成25年度116百万円、そして平成26年度の当初予算はゼロです。設置費用が安くなっている今、大規模に全区・全市民的に取り組む予算計上が必要です。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
126	ソーラーパネルの設置を戸建、集合問わず受光可能な空間に徹底して行う援助制度は欠かせない。市民が安心して導入できる行政主導の制度を早急に確立する（市場まかせはトラブル多発で市民が引く）	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
127	また、化石燃料に依存しない姿勢と施策に欠けます。それは、市予算の「地球温暖化対策」の「住宅用太陽光・太陽熱利用システム設置費補助事業」が、平成24年度の399百万円をピークに平成25年度116百万円、そして平成26年度の当初予算はゼロです。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。

No.	意見（要旨）	分類	回答
128	<p>68、69、75 ページ「再生可能エネルギー導入検討報告制度の充実」について。</p> <p>当該制度を深掘りにあたっては、関係する事業者と十分に調整し、事業者にとって過度な負担とならないよう、また民間の経済活動の阻害とならないよう配慮し、真に効果的な制度となるよう検討してほしい。</p>	参考	<p>市民や事業者の皆様のご協力をいただきつつ、今後、具体的な取組を検討してまいります。</p>
129	<p>101 ページ「従来の枠組みを超えた取組（強力な支援策、効果的な規制等）を導入していくには」及び「さらに、経済的な誘導策と共に、再生可能エネルギーの導入に関する義務付け等の規制的措置が必要であり、これに向けて、「情報提供の義務付け」及び「検討の義務付け」から段階的に取組を重ね、最終的には、「導入の義務付け」に向けて検討を進める必要がある。」について。</p> <p>このような規制的措置の導入は、企業の経済的な負担を増大させることから、横浜市における事業拡大等の経済活動を著しく妨げ、横浜市の発展に結びつかないと考えられること、また、再生可能エネルギーの導入に関する義務付け等の規制的措置を前提とした「情報提供の義務付け」及び「検討の義務付け」には、一般的に民間事業者として前向きに対応するインセンティブが働かず、結果として事業者と一体となった真の効果的な対策・施策を生み出せないと思われることから、次のとおり表現を修正すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「従来の枠組みを超えた取組（<u>強力・効果的な支援策等</u>）を導入していくには」（1行～） ・「さらに、経済的な誘導策と共に、（<u>～途中を削除～</u>）再生可能エネルギーに関する「<u>情報提供の義務付け</u>」及び「<u>検討の義務付け</u>」の取組が重要である。」（15行～） 	参考	<p>再生可能エネルギー利用の飛躍的な普及拡大を図るためには、これまでの取組の延長では不可能です。情報提供や検討の義務付けは、事業者の協力を得て、再生可能エネルギーに関する共通理解を作っていくために有効な措置と考えています。併せて、市民・事業者の方々に積極的に取り組んでいただくインセンティブを確保することも重要である点、承知しております。いただいたご意見を参考にしつつ、今後の具体的な取組を検討していきます。</p>
130	<p>現状では再生可能エネルギーの普及率が低い。再生可能エネルギーが市内の隅々まで普及すれば、例えば太陽光パネルの設置業務などの雇用につながる。</p>	反映 済み	<p>ご意見いただきましたとおり、再生可能エネルギーの導入・普及によって、二酸化炭素排出量の削減効果だけでなく、経済効果（雇用創出効果）が得られると期待しています。市内事業者の積極的な関与を推進していきたいと考えています。</p>

■第6章 取組方針と対策・施策（適応）

No.	意見（要旨）	分類	回答
131	特に、気候変動への適応という、従来のCO2削減だけではない新たな視点を取り入れたことは評価できる。	反映 済み	素案に記載しました通り、地方自治体においてこそ、創意工夫を凝らした適応策を積極的に進めていくことが必要と考えております。計画を着実に進めてまいります。
132	適応についての項目を設けた点は評価する。災害対策にもなるのではないかと思う。しかし適応の前に削減をしっかりやってもらいたい。	反映 済み	素案に記載しました通り、地方自治体においてこそ、創意工夫を凝らした適応策を積極的に進めていくことが必要と考えており、緩和策と同様に重要なものと認識しております。緩和策及び適応策それぞれの計画を着実に進めてまいります。
133	省エネへの対策も必要だが、高齢者にとって、熱中症への対策は喫緊の問題でもあり、まさに死活問題ともなる。適応策についても取り上げられているが、もっと具体的な対策、高齢者にもやさしい対策をお願いしたい。	参考	素案に記載しました通り、地方自治体においてこそ、創意工夫を凝らした適応策を積極的に進めていくことが必要と考えております。計画を着実に進めてまいります。
134	夏暑くて困っています。（気候変動に対する影響への）適応の部分に力を入れてもらえたらと思います。	参考	素案に記載しました通り、地方自治体においてこそ、創意工夫を凝らした適応策を積極的に進めていくことが必要と考えております。計画を着実に進めてまいります。

■第7章 計画の推進・進捗管理

No.	意見（要旨）	分類	回答
135	積極的な省エネ創エネ意識の啓発活動を推進する仕組みと体制を確立すること。	参考	地域レベルで温暖化対策をさらに推進していくため、IPCC 横浜開催を足掛かりとした18区リレー講座の実施など普及啓発に努めるとともに、関係区局の連携を深めるための検討を行っています。
136	再生可能エネルギーの導入加速化には、市民力の引き出しが不可欠。G30のように、行政が前面に出て地域に入る体制と仕組みを具体化すべき。	参考	引き続き皆さまのご協力をいただきながら、区役所と連携して取組を推進してまいりたいと考えております。

■その他計画全体

No.	意見（要旨）	分類	回答
137	名前が堅い。愛称が必要。	参考	検討してまいります。
138	中身も堅い。もっとシンプルにできないか。	参考	本計画は法定計画であって、記載事項が定められていますので、このような内容となっております。一方で、分かりやすい概要パンフレットを作成する等、今後の参考とさせていただきます。
139	脱温暖化条例(仮称)を制定することを盛り込むこと。	参考	「横浜市生活環境の保全等に関する条例」において、地球温暖化の防止に関する本市や市民、事業者の責務を定めています。また、この条例に基づき、一定以上のエネルギーを使う事業所に対して、温室効果ガスの削減計画と取組状況の提出を義務付けるとともに、一定規模以上の建築について、再生可能エネルギー導入検討を義務付けるなど、実効性を高める取組を行っています。
140	最初の実行計画は、2006年11月に策定したそうだが、改定案との差異が難解。市民に意見を求めるのであれば、分かり易く作って欲しい。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
141	新エネルギーが沢山出てきますが、どれも既に常識になっているものばかり。産官学に期待する考えのようだが、案作りに「有識者」は参加したのか。	参考	新たなエネルギーに関する認知度は向上しましたが、普及についてはまだまだこれからと認識しており、導入を促進して参りたいと思います。計画改定には有識者にご参画いただきました。
142	温室効果ガスを減らしていく計画を策定するのは良いこと。	反映済み	ありがとうございます。引き続き、ご協力、ご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。
143	計画に定める取組がどの程度の効果を生むか、どのくらいのコストがかかるのかよく分からないので、計画の良し悪しを判断できない。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
144	家庭に対しどのような負担を求めるか気になる。	参考	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
145	いま一度、ブラッシュアップをしたほうがよいと思う。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
146	本文中に「原発」と記載されているところは、「原子力発電」と記載を統一すべき。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ修正します。
147	市民意見募集の方法を改め、目立つパンフレットとするとともに、素案本文を気軽にみることが出来る見やすい所に置くこと。	参考	今後、計画確定時に作成するパンフレットについて、市民の皆様の目にとまるデザインにしたいと考えます。また、パンフレット及び計画素案本文は、皆様がより見やすくなるよう配架方法を工夫しました。

No.	意見（要旨）	分類	回答
148	きららふうかキター。	その他	—